

平成27年6月定例会

議案説明資料
予算に関する説明書
(平成27年度6月補正予算関係)

教育委員会

トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

また、人役については、表示単位未満の四捨五入で表示しており、結果が0.0人役となるものについては、人件費を0としています。

【予算関係】
(一般会計)

| 議案番号 | 件名 | 課名等 | 頁 |
|------|-------------------|---|------------------------------------|
| 第1号 | 平成27年度鳥取県一般会計補正予算 | | |
| | 1 補正予算説明資料 | (総括表) 教育環境課 特別支援教育課 社会教育課 文化財課 博物館 | 1 2 3~4 5~8 9 10~13 |
| | 2 歳入歳出事項別明細書 | | 14~16 |
| | 3 節の明細 | | 17 |
| | 4 継続費に関する調書 | | 18 |
| | 5 債務負担行為に関する調書 | | 19 |

【予算関係以外】
(議案)

| 議案番号 | 件名 | 課名等 | 頁 |
|------|-------------------------------------|-------|-------|
| 第12号 | 鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について | 社会教育課 | 20~24 |

(報告)

| 報告番号 | 件名 | 課名等 | 頁 |
|---|---|---------------|----|
| 第1号 | 平成26年度鳥取県一般会計継続費繰越計算書について | | |
| | 平成26年度鳥取県一般会計継続費繰越計算書 | 教育環境課 | 25 |
| 第2号 | 平成26年度鳥取県一般会計繰越明許費繰越計算書について | | |
| | 平成26年度鳥取県一般会計繰越明許費繰越計算書 | 高等学校課 文化財課 | 26 |
| 第8号 | 議会の委任による専決処分の報告について | | |
| | (1) 鳥取県育英奨学資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について(平成27年5月9日専決) | 人権教育課 | 27 |
| | (2) 鳥取県進学奨励資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について(平成27年5月9日専決) | 人権教育課 | 28 |
| | (3) 鳥取県育英奨学資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について(平成27年5月9日専決) | 人権教育課 | 29 |
| | (4) 鳥取県進学奨励資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について(平成27年5月9日専決) | 人権教育課 | 30 |
| (8) 鳥取県進学奨励資金貸付金の返還請求等に係る和解について(平成27年5月14日専決) | 人権教育課 | 31 | |

議案説明資料総括表

教育委員会(単位:千円)

| 課名 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|---------|------------|---------|------------|-------------|--------|----------------------|---------------------------------|------------------|
| | | | | 国 支 出 | 庫 金 | 起 債 | そ の 他 一 般 財 源 | |
| (一般会計) | | | | | | | | |
| 教育環境課 | 6,849,518 | 197,344 | 7,046,862 | | | <146,000> 146,000 | 51,344 | |
| 特別支援教育課 | 587,480 | 2,938 | 590,418 | | 279 | | 279 | |
| 社会教育課 | 209,552 | 17,729 | 227,281 | | | | 17,729 | |
| 文化財課 | 6,507,001 | 3,293 | 6,510,294 | 3,293 | | | | |
| 博物館 | 301,542 | 40,600 | 342,142 | | | <9,000> 9,000 | 6 | 31,594 |
| 合計 | 73,096,739 | 261,904 | 73,358,643 | 3,572 | | <155,000> 155,000 | 2,386 | 100,946 |
| | | | | | | | | 県費負担額 255,946 |

| (一般関係) | |
|---------|--|
| 教育環境課 | (新) 倉吉養護学校水治訓練室整備事業 |
| 特別支援教育課 | 地域で進める特別支援教育充実事業 手話で学ぶ教育環境整備事業 |
| 社会教育課 | (新) 青少年社会教育施設改善充実事業 県立青少年社会教育施設管理委託費 船上山少年自然の家運営費 大山青年の家運営費 |
| 文化財課 | (新) 祝!三徳山・三朝温泉日本遺産初認定記念事業 |
| 博物館 | (新) 美術館整備基本構想策定事業 博物館運営費 博物館普及事業費 |

(注) 起債の上段<>書きは交付税措置額を除いた金額である。

県費負担額は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

平成27年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

5項 特別支援学校費

教育環境課（内線：7507）

2目 特別支援学校費

（単位：千円）

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財 源 内 訳 | | | | 備考 |
|---|-----------|---------|---------|-----------------------|----------------------|-----|--------|------------------|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| (新) 倉吉養護 学校水治訓練室 整備事業 | 0 | 197,344 | 197,344 | | <146,000> 146,000 | | 51,344 | 県費負担額 197,344 |
| トータルコスト | 0 | 198,897 | 198,897 | (補正に係る主な事業内容) | | | | |
| 従事する職員数 | 0.0人 | 0.2人 | 0.2人 | 委託・工事内容の調整、工事管理、契約事務等 | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | 特別支援教育の充実 | | | | | | | |
| 事業内容の説明 | | | | | | | | |
| 1 事業の目的・概要 | | | | | | | | |
| 倉吉養護学校の肢体不自由の児童生徒が自立活動である水治訓練を校内で行えるようにするため、水治訓練室の整備を行う。 | | | | | | | | |
| 2 事業内容 | | | | | | | | |
| ＜主な整備施設＞ | | | | | | | | |
| ・水治訓練用プール（10m×5m）、サブプール（3.5m×2m） | | | | | | | | |
| ・更衣室、トイレ、ボイラー室、倉庫、既存施設との連絡通路 など | | | | | | | | |
| ＜事業費＞（単位：千円） | | | | | | | | |
| 区 分 | 27年度 | 28年度 | 合計 | | | | | |
| 委託料（工事監理等） | 2,644 | 1,074 | 3,718 | | | | | |
| 工事請負費 | 194,700 | 32,718 | 227,418 | | | | | |
| 計 | 197,344 | 33,792 | 231,136 | | | | | |
| ※平成27年度から平成28年度継続事業 | | | | | | | | |
| ※工事期間：平成27年9月から平成28年6月まで（約10ヶ月間） | | | | | | | | |
| ＜水治訓練とは＞ | | | | | | | | |
| 障がいによる学習上・生活上の困難を克服し、自立を図るために必要な知識技能を学ぶ「自立活動」教科の中の一つの活動で、水中の浮力を利用することで、陸上より身体が動きやすいため、児童生徒が主体的に自分の身体を動かそうとする自立的な活動の訓練になる。 | | | | | | | | |
| 3 これまでの取組状況・背景等 | | | | | | | | |
| 倉吉養護学校は従来知的障がいの教育を行っていたが、平成16年度から肢体不自由教育部門が設置され、以来、肢体不自由生徒数は年々増加傾向にある。 | | | | | | | | |
| 現在、倉吉養護学校の水治訓練は倉吉市営プールまで貸切バスで移動し行っており、児童生徒に身体的・精神的負担が生じている。また、移動時間が学習時間を圧迫している。さらに、学習用品の移動や車いす等の乗せ下ろし等が教職員の負担になっている。 | | | | | | | | |
| 平成26年度に基本設計・実施設計を行い、本年度は工事に着手する。 | | | | | | | | |

(注) 起債欄の上段< >書きは、交付税措置額を除いた金額である。

県費負担額は起債欄の< >書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

平成27年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

特別支援教育課（内線：7575）

5目 教育振興費

（単位：千円）

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|------------------|-----------|------|--------|--------------------------------|----|-----|------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| 地域で進める特別支援教育充実事業 | 25,390 | 558 | 25,948 | 279 | | | 279 | |
| トータルコスト | 45,580 | 558 | 46,138 | （補正に係る主な事業内容） | | | | |
| 従事する職員数 | 2.6人 | 0.0人 | 2.6人 | 南部町における特別支援教育総合推進事業による地域内の体制整備 | | | | |
| 工程表の施策目標（指標） | 特別支援教育の充実 | | | | | | | |

事業内容の説明

1 事業の概要

「共生社会」の形成に向けて、障がいのある幼児児童生徒の自立と社会参加を目指した取組を進め、地域におけるインクルーシブ教育システム（※）構築を推進する。

※インクルーシブ教育システム…障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み

2 事業内容

（単位：千円）

| 項目 | 予算額 | 内容 |
|----------------------------------|-----|---|
| 特別支援教育総合推進事業 （国1/3、県1/3、町1/3） | 558 | 南部町における特別支援教育の体制整備を進めるために、地域支援コーディネーターの配置経費を増額し、保育所・学校訪問、保護者支援の充実を図る。（当初 3,789千円→4,347千円） |
| 合計 | 558 | |

3 これまでの取組状況、改善点

地域内に早期支援コーディネーターを配置し、保護者の障がい受容や地域住民の特別支援教育に関する理解啓発を進め、早期からの教育相談や就学相談の充実を図り、インクルーシブ教育システムの構築を目指した地域内の体制づくりを進めている。

| 年度 | 実施市町村 |
|--------|-----------------|
| 平成24年度 | 鳥取市、南部町 |
| 平成25年度 | 鳥取市、智頭町、南部町 |
| 平成26年度 | 智頭町、琴浦町 |
| 平成27年度 | 境港市、智頭町、琴浦町、南部町 |

平成27年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

5項 特別支援学校費

2目 特別支援学校費

特別支援教育課(内線:7575)

(単位:千円)

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|---------------|---------------------------|-------|--------|---|----|------------------|------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| 手話で学ぶ教育環境整備事業 | 14,893 | 2,380 | 17,273 | | | (基金繰入金) 2,380 | | |
| トータルコスト | 21,105 | 2,380 | 23,485 | (補正に係る主な事業内容) 手話普及支援員派遣の充実・指文字タペストリー作成 | | | | |
| 従事する職員数 | 0.8人 | 0.0人 | 0.8人 | | | | | |
| 工程表の施策目標(指標) | 特別支援教育の充実、教育面における手話の一層の普及 | | | | | | | |
| 事業内容の説明 | 【「とっとり支え愛基金」充当事業】 | | | | | | | |

1 事業の概要

ろう者とろう者以外が互いに理解し合う共生社会を目指し、学校におけるろう及び手話への理解が深まるよう、各学校の要望等を聞きながら、教育面における手話に関する環境整備の充実を図る。

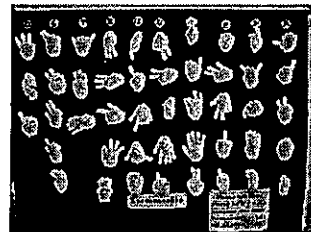
2 事業内容

(単位:千円)

| 項目 | 予算額 | 内容 |
|--------------------|-------|---|
| 手話普及支援員派遣 | 1,630 | 各学校からの要請に応じ、手話等を指導する手話普及支援員及び随行手話通訳者を派遣する。(当初1,280千円→2,910千円) |
| (新) 指文字タペストリー作成 | 750 | 手話を学ぶ教育環境の一層の充実を目指し、県内の小学校等(50校)に指文字タペストリーを配付する。 |
| 合計 | 2,380 | |

3 これまでの取組状況、改善点

- 鳥取聾学校教職員の手話の知識・技能の向上を図るため、手話講座の開催や、ろう児・保護者等との情報共有を図るため手話通訳者の派遣、及び地域の学校との交流学习を実施し、手話に関する理解を深めている。
- 学校で活用する手話学習教材について、手話学習教材作成委員会の意見を聞いて、平成26年2月に手話ハンドブック(入門編)、平成26年7月に手話ハンドブック(活用編)、平成26年9月に手話ハンドブック(入門編・活用編)DVD、平成27年2月に手話クリアファイル(鳥取県の地名)を作成し、県内全小中高等学校及び特別支援学校等に配付した。
- 学校現場では、手話普及コーディネーター・手話普及支援員を活用し、「総合的な学習の時間」等での授業や、学習発表会等での手話による合唱、手話クラブなどで手話学習を推進している。
- 手話等に関する取組に係る情報の受発信する役割を担う各学校窓口役を指名し、各学校における手話の普及に関する取組を推進する。



(指文字タペストリー)

(参考) 平成27年度の手話普及支援員派遣希望状況【平成27年3月現在】

- 派遣希望延べ人数 520人(231人) ()は平成26年度の実績数
- (内訳) 小学校359人 中学校62人 高等学校86人 特別支援学校13人

<当初予算事業内容>

(1) ろう児が手話を学び、手話で学習していく取組を進める。

(単位:千円)

| 手話講座の開催 | 聴覚障がい教育に関する専門研修会の開催 | 手話講座等への参加経費の助成 | 教職員の手話技能検定助成制度 | 手話通訳者の派遣 | 合計 |
|---------|---------------------|----------------|----------------|----------|-------|
| 168 | 160 | 385 | 4,098 | 308 | 5,119 |

(2) すべての児童・生徒が手話を学ぶ機会をつくる。

(単位:千円)

| 手話普及推進員に関する研修 | 手話普及コーディネーター・手話普及支援員の配置 | 聾学校幼児児童生徒との交流学习 | 鳥取聾学校等教職員による出前講座の開催 | 手話ハンドブックの作成・配付(新1年生分) | 合計 |
|---------------|-------------------------|-----------------|---------------------|-----------------------|-------|
| 30 | 7,868 | 200 | 120 | 1,556 | 9,774 |

平成27年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

社会教育課（内線：7519）

5目 青少年社会教育施設費

（単位：千円）

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|---------------------|----------------|--------|--------|------------------|----|-----|--------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| (新) 青少年社会教育施設改善充実事業 | 0 | 17,515 | 17,515 | | | | 17,515 | |
| トータルコスト | 0 | 18,292 | 18,292 | (補正に係る主な事業内容) | | | | |
| 従事する職員数 | 0.0人 | 0.1人 | 0.1人 | 委託・工事内容の調整、工事管理等 | | | | |
| 工程表の施策目標(指標) | 生涯学習の環境整備と活動支援 | | | | | | | |

事業内容の説明

1 事業の概要

青少年社会教育施設の利用者ニーズに対応し、より多くの利用促進を図るため、緊急性の高いものから必要な改修等を行う。

2 事業内容

（単位：千円）

| 区分 | 予算額 | 事業内容 |
|---------|--------|---|
| 冷房設備設置 | 9,566 | 大山青年の家の研修室（5室）に冷房設備を設置する。 ・新研修室 ・大研修室 ・中研修室 ・小研修室×2 |
| 非常灯設備更新 | 7,949 | 船上山少年自然の家において、老朽化した非常灯設備を更新する。 |
| 合計 | 17,515 | |

3. これまでの取組状況、改善点など

- ・平成25年度に耐震改修等工事を完了した。
- ・その他、必要な箇所について順次改修を行っている。

平成27年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

社会教育課 (内線: 7519)

5目 青少年社会教育施設費

(単位: 千円)

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|----------------------|-----|--------------------------|--------------------------|-------|----|-----|--------------------------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| (新) 県立青少年社会教育施設管理委託費 | 0 | 〔債務負担行為〕 220,116 0 | 〔債務負担行為〕 220,116 0 | | | | 〔債務負担行為〕 220,116 0 | |

工程表の施策目標(指針) 生涯学習の環境整備と活動支援

事業内容の説明

1 事業の概要

県立青少年社会教育施設(県立船上山少年自然の家・県立大山青年の家)について、利用者のニーズに合わせた管理運営とサービスの向上を図るため、平成28年度から指定管理者制度を一部導入する。

【県立青少年社会教育施設の概要】

(1) 主な事業内容

児童・生徒を主に様々な団体の集団宿泊活動・自然体験活動の受け入れや、主催事業としてキャンプ・カヌー・野外炊事等の自然体験活動や、指導者・ボランティアの育成等を実施している。

(2) 年間利用者数(平成26年度)

船上山少年自然の家 25,925人
大山青年の家 35,313人

2 事業内容

(1) 委託業務内容【指定管理者が行う業務】

- ・青少年社会教育施設の維持管理
- ・青少年社会教育施設の利用許可手続き
- ・青少年社会教育施設で行う体験学習等事業の実施補助

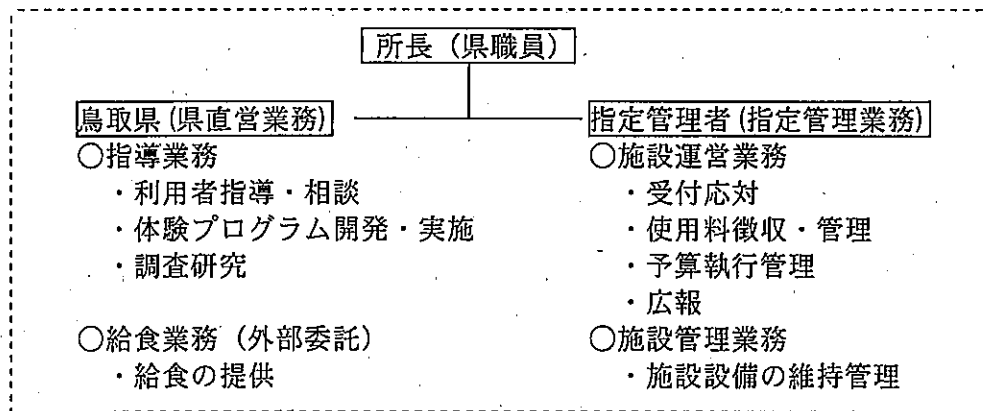
(2) 指定管理者の選定方法 一般公募による

(3) 債務負担行為

| | |
|------------------------|--|
| 債務負担行為の期間 (指定管理の期間) | 3年間(平成28年度～平成30年度) |
| 債務負担行為額 | 220,116千円(73,372千円×3年間) 【内訳】 船上山少年自然の家 110,100千円(36,700千円×3年間) 大山青年の家 110,016千円(36,672千円×3年間) |

(4) 県と指定管理者の業務の区分

利用者に対する指導や体験活動等のサポートは施設の中核機能であり、引き続き県職員が行い、施設設備の維持管理等の業務を指定管理者が行う。



3 これまでの取組状況、改善点など

平成24年度に実施された事業棚卸しで「[改善継続]指定管理者制度の導入を含めて、運営のあり方を抜本的に検討すべき」と評価を受け、平成25年度に、学識経験者、民間、学校、市町村等の代表からなる「運営委員会」を設置して施設の運営や事業内容について検討を行い、意見をいただいた。平成26年度は、さらに広く意見を聴取するため、県民アンケートや学校関係者へのアンケートを行い、これらの結果を踏まえて、運営委員会で更に今後の施設にあり方について検討を進め、意見のとりまとめをいただいた。この運営委員会での意見を、今後の施設の運営に反映させていくこととする。

<運営委員会の意見のとりまとめ>

①施設の目指すべき方向性と適切な評価の実施

青少年教育施設としての機能強化と生涯学習施設としての役割の明確化・機能強化

②新たな視点に立った管理運営

○中核機能である指導部門については過去の蓄積やノウハウを活かした運営方法を継続

○情報発信機能の充実や施設運営の効率化に向けて、民間等の活力を引き出す運営方法も検討

平成27年度一般会計補正予算説明資料

10 款 教育費

6 項 社会教育費

社会教育課 (内線: 7.519)

5 目 青少年社会教育施設費

(単位: 千円)

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財 源 内 訳 | | | | 備考 |
|---|-----------------------------------|---|--------|---------------|----|-----|------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| 船上山少年自然の家 運営費 | 35,952 | 107 | 36,059 | | | | 107 | |
| トータルコスト | 66,236 | 107 | 66,343 | (補正に係る主な業務内容) | | | | |
| 従事する職員数 | 3.9人 | 0.0人 | 3.9人 | 審査委員会の開催 | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | 生涯学習の環境整備と活動支援、豊かな人間性、社会性を育む教育の推進 | | | | | | | |
| 事業内容の説明 | | | | | | | | |
| 1 事業の目的・概要 | | | | | | | | |
| 平成28年度に指定管理者制度を導入するため、指定管理候補者を選定する委員会を開催する。 | | | | | | | | |
| 2 事業内容 | | | | | | | | |
| (単位: 千円) | | | | | | | | |
| 区 分 | 予算額 | 事 業 内 容 | | | | | | |
| 指定管理候補者審査委員会の開催 | 107 | 外部有識者及び県関係者から構成される審査委員会を開催する。 【スケジュール(予定)】 平成27年7月 第1回審査委員会(募集要項等の審査) 8月 第2回審査委員会(現地視察) 9月 第3回審査委員会(指定管理候補者の決定) | | | | | | |
| 合 計 | 107 | | | | | | | |
| 大山青年の家運営費 | 35,432 | 107 | 35,539 | | | | 107 | |
| トータルコスト | 60,280 | 107 | 60,387 | (補正に係る主な業務内容) | | | | |
| 従事する職員数 | 3.2人 | 0.0人 | 3.2人 | 審査委員会の開催 | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | 生涯学習の環境整備と活動支援、豊かな人間性、社会性を育む教育の推進 | | | | | | | |
| 事業内容の説明 | | | | | | | | |
| 1 事業の目的・概要 | | | | | | | | |
| 平成28年度に指定管理者制度を導入するため、指定管理候補者を選定する委員会を開催する。 | | | | | | | | |
| 2 事業内容 | | | | | | | | |
| (単位: 千円) | | | | | | | | |
| 区 分 | 予算額 | 事 業 内 容 | | | | | | |
| 指定管理候補者審査委員会の開催 | 107 | 外部有識者及び県関係者から構成される審査委員会を開催する。 【スケジュール(予定)】 平成27年7月 第1回審査委員会(募集要項等の審査) 8月 第2回審査委員会(現地視察) 9月 第3回審査委員会(指定管理候補者の選定) | | | | | | |
| 合 計 | 107 | | | | | | | |

平成27年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

2目 文化財保護費

文化財課 (内線: 7932)

(単位: 千円)

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財 源 内 訳 | | | | 備考 |
|----------------------------|------|-------|-------|-----------------|----|-----|------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| (新) 祝! 三徳山・三朝温泉日本遺産初認定記念事業 | 0 | 3,293 | 3,293 | 3,293 | | | | |
| トータルコスト | 0 | 3,293 | 3,293 | (補正に係る主な業務内容) | | | | |
| 従事する職員数 | 0.0人 | 0.0人 | 0.0人 | 講演会(県外)、展示会(県内) | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | - | | | | | | | |

事業内容の説明 「地域住民生活等緊急支援のための交付金(地方創生先行型)」充当事業

1 事業の概要

三徳山・三朝温泉が国(文化庁・観光庁・国土交通省・環境省等連携)の新たな認定制度である「日本遺産」に認定されたのに伴い、教育委員会、文化観光スポーツ局、中部総合事務所等が連携し、三朝町及び地元で組織する協議会での取組を支援する。

2 事業内容及び事業費

(単位: 千円)

| 区 分 | 補正予算額 | 事業内容 |
|---|-------|--|
| 「三徳山・三朝温泉」の魅力発見講座「三朝学講座」の開催 (県外への情報発信) | 3,293 | 日本遺産初認定となった「三徳山・三朝温泉」の魅力情報を発信するため、歴史、自然、民俗、美術工芸、建築、温泉等をテーマとして連続講座(7回、7月から10月を予定)を大阪(大阪市歴史博物館)及び東京(三井記念美術館)で開催。 |
| 日本遺産「三徳山・三朝温泉」写真展の開催 (県内への情報発信) | - | 仏像等の美術工芸品、国宝「投入堂」をはじめとするエリア内の建造物群の写真パネル展示を県内の県有施設、商業施設等で開催。 |
| 合 計 | 3,293 | |

<参考>教育委員会以外の補正予算の状況

(単位: 千円)

| 所 属 | 補正予算額 | 概 要 |
|---------|--------|--|
| 観光戦略課 | 3,000 | 海外で日本遺産「三徳山・三朝温泉」が含まれる旅行商品の造成、販売を促進するため、旅行博覧会でのPR、海外専門誌等への掲載、旅行会社と連携した共同広告、海外メディア招待視察ツアー等を実施。 |
| 中部総合事務所 | 21,102 | 海外からの観光客へのアピール・おもてなしの一環として多言語化案内看板等を設置。 日本遺産「三徳山・三朝温泉」の景観・環境整備としてガードレール交換、側溝蓋掛け、バス停等の整備を実施。 |

3 これまでの取組状況・背景等

「日本遺産」は平成27年度から新たに制度化され、クールジャパン戦略の一環として、東京オリンピック開催(2020年)までに100件の認定を目標としている。

第1回の認定となる平成27年度は、83件の応募中「三徳山・三朝温泉」を含む18件が第1号として認定された。

<参考>

・申請者: 三朝町

・ストーリーのタイトル: 六根清浄と六感治癒の地

～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～

10 款 教育費
 6 項 社会教育費
 4 目 博物館費

博物館 (0857-26-8042)
 (単位:千円)

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|---|------------------|-------|-------|------------------|---------|-----|-------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| (新) 美術館整備基本構 想策定事業 | 0 | 9,891 | 9,891 | | | | 9,891 | |
| トータルコスト | 0 | 9,891 | 9,891 | (補正に係る主な業務内容) | | | | |
| 従事する職員数 | 0.0人 | 0.0人 | 0.0人 | 美術館整備基本構想の策定等 | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | 生涯学習の推進、博物館機能の充実 | | | | | | | |
| 事業内容の説明 | | | | | | | | |
| 1 事業の目的・概要 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立博物館は築後40年が経過し、建物の老朽化や収蔵庫の狭隘化等様々な課題を抱えていることから、平成26年度には、鳥取県立博物館現状・課題検討委員会においてソフト・ハード両面について検討した。 ・ 「自然、歴史・民俗、美術の3分野のいずれかのために新たな施設を整備するとともに、現在の建物を残る2つの分野のための施設に改修することを基本として考えるべき」との同委員会の報告を踏まえ、メリットが多くデメリットが少ないことや県民アンケートの結果等を踏まえ、美術分野の施設(美術館)を新たに整備する方向で検討を進める。 ・ この方向性に基つき、美術館整備に係る基本構想を策定するとともに、県民の意見を聞くための県民意識調査やシンポジウムを実施するものである。 | | | | | | | | |
| 2 主な事業内容 | | | | | | | | |
| (1) 美術館整備基本構想の策定 | | | | | | | | |
| ア 基本構想の原案作成 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本構想案(基本的な設置目的・理念、性格や機能、施設設備や規模等)を作成する。 ・ その際には、美術及び美術館に精通したアドバイザーによる助言を得る。 | | | | | | | | |
| イ 基本構想検討委員会の設置・運営 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内外の有識者で構成する委員会において、上記の構想案をチェック・審議する。 ・ 近年建設された美術館等の視察も実施する。 ・ 委員数:15名 ・ 開催予定回数:8回(8月から3月まで月1回開催) | | | | | | | | |
| (2) 県民意識調査の実施 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査内容:美術館整備について ・ 調査対象:住民基本台帳から、約3,000名を抽出 ・ 調査時期:平成27年8月から9月頃まで ・ 予算:県民課 | | | | | | | | |
| (3) シンポジウムの開催 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 美術館整備の在り方や基本構想の内容について、有識者をパネラーとしたシンポジウムを開催する。 ・ 開催時期:平成27年12月から平成28年1月頃まで(1回開催) ・ 開催場所:県立博物館 講堂(定員:250名) | | | | | | | | |
| (4) 事業費 | | | | | | | | |
| | | | | 項目 | 事業費[千円] | | | |
| | | | | (1) 美術館整備基本構想の策定 | 6,668 | | | |
| | | | | (2) 県民意識調査の実施 | 県民課予算 | | | |
| | | | | (3) シンポジウムの開催 | 3,223 | | | |
| | | | | 計 | 9,891 | | | |
| 3 これまでの取組状況、改善点 | | | | | | | | |
| (1) 取組状況 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取県立博物館現状・課題検討委員会を平成26年6月に設置し、8月から翌年3月まで委員会を6回開催した。 ・ 委員会の一般傍聴を認め、傍聴者との意見交換の機会を設ける、県政参画電子アンケートを実施する等、県民の考えを聞く機会を持った。 | | | | | | | | |
| (2) 改善点 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民自身に考えて貰った上で、その声を聞く機会を一層充実し、県民の理解を得て基本構想を策定するようにする。 | | | | | | | | |

平成27年度一般会計補正予算説明資料

10 款 教育費
6 項 社会教育費
4 目 博物館費

博物館(0857-26-8042)
(単位:千円)

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|--------------|------------------|--------|---------|--------------------------|------------------|-----|--------|----------------|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| 博物館運営費 | 95,038 | 29,062 | 124,100 | | <9,000> 9,000 | | 20,062 | 県費負担 29,062 |
| トータルコスト | 122,216 | 29,062 | 151,278 | (補正に係る主な業務内容) | | | | |
| 従事する職員数 | 3.5人 | 0.0人 | 3.5人 | ガス系消火設備の容器弁の点検、緊急修繕(設計)等 | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | 生涯学習の推進、博物館機能の充実 | | | | | | | |

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県立博物館は築後40年が経過し、建物の老朽化や収蔵庫の狭隘化等様々な課題を抱えていることから、美術館を新たに整備し、現在の施設は、自然・歴史博物館に改修して、継続使用していくこととした。そのために直ちに行う必要があるガス系消火設備の容器弁の点検、緊急修繕に係る設計を行うものである。

併せて、博物館や美術館の運営体制について、地方独立行政法人化等の検討を行う。

2 主な事業内容

(1) ガス系消火設備の容器弁の点検

ア 概要

現施設に設置している二酸化炭素を消火剤とするガス系消火設備については、平成25年の消防庁告示により、その容器弁の点検を平成28年3月31日までに実施することが義務付けられており、今回点検対象となる112本に係る点検経費を計上するものである。

また、平成30年3月31日までに点検することが義務付けられている起動用容器弁11本についても併せて点検することとし、その点検経費を計上するものである。

イ 消防庁告示の内容及び当館の点検対象となる容器弁数

- ・ガス系消火設備の容器弁について設置後25年(二酸化炭素の場合)を経過するまでの間に点検を実施すること(平成25年1月26日消防庁告示第19号)
- ・経過措置の点検期限は下表のとおり

| 経過措置の点検期限 | 点検対象 | 点検対象となる容器弁数 |
|--------------|--------------------------|-------------|
| 平成28年3月31日まで | 昭和52年3月31日以前に設置された容器弁 | 112本 |
| 平成30年3月31日まで | 昭和63年3月31日以前に設置された起動用容器弁 | 11本 |

(2) 緊急修繕(設計)

ア 現状及び修繕内容

| 修繕箇所 | 現状 | 修繕内容 |
|--------|--|--|
| 屋上防水 | ・屋上防水層が劣化(一部防水層に破れ等が生じている) | ・シート防水継ぎ目剥離補修 ・シート防水撤去更新 |
| 外壁 | ・塗装が剥げ、雨水が浸透し、一部鉄筋にまで到達 | ・コンクリート露筋爆裂部防錆、補修 ・クラック樹脂注入 ・フッ素塗装 |
| 外部金属建具 | ・サッシの大半はスチールのままで腐食 | ・アルミサッシに更新 |
| 機械設備 | ・現在の自動制御設備は既に製造中止で、修繕部品の供給困難 ・故障前の予防保全が必要 | ・新しい設備に更新 |

イ スケジュール

平成27年度:緊急修繕に係る実施設計

平成28年度:緊急修繕工事 ※工事は開館したままで実施可能

(3) 地方独立行政法人化の検討

ア 概要

平成26年度に鳥取県立博物館現状・課題検討委員会(県内外の有識者12名で構成)で取りまとめた鳥取県立博物館現状・課題検討結果報告書では、博物館や美術館を計画的・効率的に運営していくために、現在の直営だけではなく、民間のノウハウ等を導入して効率化を図れる地方独立行政法人による運営(以下「独法化」という。)や指定管理者制度の導入についても検討すべきとされている。

また、同報告書では、県立博物館単独では組織規模が小さく、独法化のメリットが少ないと指摘されており、市町村と共同での独法化の可能性を探るため、今年度、博物館、美術館、歴史民俗資料館等を設置している市町村と研究会を設けて検討を進める予定である。

- ・参加予定：米子市、倉吉市等12市町村
- ・開催予定回数：4回程度
- ・研究内容：独法化制度の検討、収支シミュレーションの検討、独法化のメリット・デメリットの具体的検証等

なお、指定管理者制度については、並行して館内で検討を進めていく。

イ 事業内容

市町村との研究会では、事業収支等の経費面や人的・施設資源の活用等、県立施設と市町村立施設を一括管理した場合のメリット・デメリットを具体的に検証しながら議論を進めていく必要があることから、そのための検討資料（県立博物館及び県内市町村の博物館等を管理運営する地方独立行政法人の収支シミュレーション）を外部委託により作成する。

(4) 事業費

| 項目 | 事業費[千円] | 備考 |
|--------------------|---------|--------|
| (1) ガス系消火設備の容器弁の点検 | 14,673 | — |
| (2) 緊急修繕(設計) | 12,855 | 一部起債充当 |
| (3) 地方独立行政法人化の検討 | 1,534 | — |
| 計 | 29,062 | — |

3 これまでの取組状況

- ・当面現在の建物を利用する必要があることから、平成26年度に今後の保全整備計画の策定に向けた建物の劣化状況調査を実施した。
- ・劣化対策工事（今後数年以内に行うべきもの。今回の緊急修繕を含む。）は約12億円、耐震対策工事は約14億円がそれぞれ必要である。

(注) 起債欄の上段< >書きは、交付税措置額を除いた金額である。
 県費負担は、起債欄の< >書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。

平成27年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

博物館 (0857-26-8042)

4目 博物館費

(単位:千円)

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|--------------|------------------|-------|--------|---------------|----|------------|-------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| 博物館普及事業費 | 8,697 | 1,647 | 10,344 | | | (諸収入) 6 | 1,641 | |
| トータルコスト | 32,769 | 1,647 | 34,416 | (補正に係る主な業務内容) | | | | |
| 従事する職員数 | 3.1人 | 0.0人 | 3.1人 | 専門的非常勤職員の配置 | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | 生涯学習の推進、博物館機能の充実 | | | | | | | |

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「鳥取県立博物館現状・課題検討委員会」の報告書では、戦略的な広報や効果的できめ細かい情報発信等を迅速・的確に処理できる体制を整えること、県民の多様なニーズに対応する講座等も実施すること等が求められているが、広報や教育普及の主担当は正職員1名であり、現体制で今以上に充実を図ることは困難なため、専門的な知識・技術を有する非常勤職員を配置して広報や教育普及の活動を充実させ、併せて学芸員等の常勤職員が美術館整備基本構想等の作成業務にも積極的に対応できる体制を整えるものである。

2 主な事業内容

○専門的非常勤職員の配置(広報・普及専門員)〈平成27年8月〜〉

【非常勤職員に求めるスキル等】(募集時)

- (1) ホームページ(HP)管理等に必要なプログラミング等の知識・技術を有していること。
- (2) 自然、歴史・民俗又は美術の分野に関心があり、教育普及(主催講座等)に取り組む意欲があること。

(単位:千円)

| 事業区分 | 予算額 | 事業内容(職務内容) |
|-------------|-------|---|
| 専門的非常勤職員の配置 | 1,647 | ・広報業務(HP管理・広報誌等調製・発注等の業務) ・教育普及業務補助(主催講座等の準備・運営等の補助) ・その他の業務の補助 |
| 合計 | 1,647 | |

| 款 項 目 | 10款 教育費 | | | | | | | | |
|----------------------------|------------|---------|------------|------------|----------|------------|---------|----------|---------|
| | 節 別 | 補正前 | 補正額 | 補正後 | 1項 教育総務費 | | | | |
| | | | | | 補正前 | 補正額 | 補正後 | 5目 教育振興費 | |
| | | | | | | | 補正前 | 補正額 | 補正後 |
| 1 報 酬 | 1,732,240 | 2,700 | 1,734,940 | 305,959 | | 305,959 | 130,612 | | 130,612 |
| 2 給 料 | 26,802,129 | | 26,802,129 | 476,076 | | 476,076 | | | |
| 3 職 員 手 当 等 | 17,743,368 | | 17,743,368 | 405,455 | | 405,455 | | | |
| 4 共 済 費 | 8,390,725 | 229 | 8,390,954 | 197,676 | | 197,676 | 19,403 | | 19,403 |
| 5 災 害 補 償 費 | | | | | | | | | |
| 6 恩 給 及 び 退 職 年 金 | 84,163 | | 84,163 | 84,163 | | 84,163 | | | |
| 7 貸 金 | 30,609 | | 30,609 | 5,493 | | 5,493 | | | |
| 8 報 償 費 | 157,831 | 1,888 | 159,719 | 91,501 | | 91,501 | 28,410 | | 28,410 |
| 9 旅 費 | 613,674 | 4,242 | 617,916 | 315,220 | | 315,220 | 59,574 | | 59,574 |
| 費 用 弁 償 | 29,573 | 3,000 | 32,573 | 19,215 | | 19,215 | 10,996 | | 10,996 |
| 普 通 旅 費 | 506,362 | | 506,362 | 244,370 | | 244,370 | 30,415 | | 30,415 |
| 特 別 旅 費 | 77,739 | 1,242 | 78,981 | 51,635 | | 51,635 | 18,163 | | 18,163 |
| 10 交 際 費 | 360 | | 360 | 360 | | 360 | | | |
| 11 需 用 費 | 1,225,646 | 750 | 1,226,396 | 763,795 | | 763,795 | 17,245 | | 17,245 |
| 12 役 務 費 | 262,510 | 700 | 263,210 | 164,038 | | 164,038 | 14,606 | | 14,606 |
| 13 委 託 料 | 6,273,448 | 40,034 | 6,313,482 | 671,520 | | 671,520 | 255,980 | | 255,980 |
| 14 使 用 料 及 び 賃 借 料 | 1,332,722 | | 1,332,722 | 1,057,982 | | 1,057,982 | 26,800 | | 26,800 |
| 15 工 事 請 負 費 | 5,140,264 | 210,803 | 5,351,067 | 4,035,975 | | 4,035,975 | | | |
| 16 原 材 料 費 | 8,825 | | 8,825 | | | | | | |
| 17 公 有 財 産 購 入 費 | 46,056 | | 46,056 | | | | | | |
| 18 備 品 購 入 費 | 267,400 | | 267,400 | 108,768 | | 108,768 | 8,293 | | 8,293 |
| 19 負 担 金 及 補 助 金 及 び 交 付 金 | 1,634,913 | 558 | 1,635,471 | 1,242,233 | 558 | 1,242,791 | 81,887 | 558 | 82,445 |
| 20 扶 助 費 | 130,810 | | 130,810 | 130,660 | | 130,660 | 130,660 | | 130,660 |
| 21 貸 付 金 | 840 | | 840 | 840 | | 840 | | | |
| 22 補 償 及 び 賠 償 金 | 118,322 | | 118,322 | | | | | | |
| 23 債 還 金 及 利 子 及 び 割 引 料 | 345,265 | | 345,265 | 345,265 | | 345,265 | | | |
| 24 投 資 及 び 出 資 金 | | | | | | | | | |
| 25 積 立 金 | 250,998 | | 250,998 | 250,144 | | 250,144 | | | |
| 26 寄 付 金 | | | | | | | | | |
| 27 公 課 費 | 603 | | 603 | 489 | | 489 | 62 | | 62 |
| 28 繰 出 金 | 503,018 | | 503,018 | 503,018 | | 503,018 | | | |
| 予 備 費 | | | | | | | | | |
| 計 | 73,096,739 | 261,904 | 73,358,643 | 11,156,630 | 558 | 11,157,188 | 773,532 | 558 | 774,090 |
| 財 源 | | | | | | | | | |
| 国 庫 支 出 金 | 10,821,716 | 3,572 | 10,825,288 | 1,095,380 | 279 | 1,095,659 | 144,910 | 279 | 145,189 |
| 地 方 債 | 3,128,000 | 155,000 | 3,283,000 | 2,959,000 | | 2,959,000 | | | |
| 内 そ の 他 | 7,691,267 | 2,386 | 7,693,653 | 714,289 | | 714,289 | 10,317 | | 10,317 |
| 一 般 財 源 | 51,455,756 | 100,946 | 51,556,702 | 6,387,961 | 279 | 6,388,240 | 618,305 | 279 | 618,584 |

平成27年度 6月補正予算歳入歳出事項別明細書

(単位：千円)

| 款 項 目 | 5項 特別支援学校費 | | | | | | 6項 社会教育費 | | | |
|----------------------------|---------------|---------|-----------|-----------|------------|-----------|-------------|--------|-----------|-----|
| | 節 別 | 補正前 | 補正額 | 補正後 | 2目 特別支援学校費 | | | 補正前 | 補正額 | 補正後 |
| | | | | | 補正前 | 補正額 | 補正後 | | | |
| 1 報 酬 | 183,408 | | 183,408 | 181,450 | | 181,450 | 212,252 | 2,700 | 214,952 | |
| 2 給 料 | 3,011,766 | | 3,011,766 | 3,011,766 | | 3,011,766 | 529,629 | | 529,629 | |
| 3 職 員 手 当 等 | 1,659,895 | | 1,659,895 | 1,659,895 | | 1,659,895 | 293,167 | | 293,167 | |
| 4 共 済 費 | 938,273 | | 938,273 | 938,273 | | 938,273 | 198,873 | 229 | 199,102 | |
| 5 災 害 補 償 費 | | | | | | | | | | |
| 6 恩 給 及 び 退 職 年 金 | | | | | | | | | | |
| 7 貸 金 | 3,142 | | 3,142 | 3,142 | | 3,142 | 3,820 | | 3,820 | |
| 8 報 償 費 | 10,826 | 930 | 11,756 | 3,124 | 930 | 4,054 | 27,690 | 958 | 28,648 | |
| 9 旅 費 | 35,853 | | 35,853 | 2,796 | | 2,796 | 48,525 | 4,242 | 52,767 | |
| 費用弁償 | 432 | | 432 | 160 | | 160 | 7,173 | 3,000 | 10,173 | |
| 普通旅費 | 32,964 | | 32,964 | 1,144 | | 1,144 | 23,855 | | 23,855 | |
| 特別旅費 | 2,457 | | 2,457 | 1,492 | | 1,492 | 17,497 | 1,242 | 18,739 | |
| 10 交 際 費 | | | | | | | | | | |
| 11 需 用 費 | 175,996 | 750 | 176,746 | 2,458 | 750 | 3,208 | 171,785 | | 171,785 | |
| 12 役 務 費 | 16,937 | 700 | 17,637 | 1,291 | 700 | 1,991 | 46,762 | | 46,762 | |
| 13 委 託 料 | 65,262 | 2,644 | 67,906 | 17,356 | 2,644 | 20,000 | 5,382,143 | 37,390 | 5,419,533 | |
| 14 使用料及び賃借料 | 16,791 | | 16,791 | 4,230 | | 4,230 | 166,185 | | 166,185 | |
| 15 工 事 請 負 費 | 69,897 | 194,700 | 264,597 | 69,897 | 194,700 | 264,597 | 682,806 | 16,103 | 698,909 | |
| 16 原 材 料 費 | | | | | | | | | | |
| 17 公 有 財 産 購 入 費 | | | | | | | 46,056 | | 46,056 | |
| 18 備 品 購 入 費 | 19,102 | | 19,102 | 1,041 | | 1,041 | 101,703 | | 101,703 | |
| 19 負 担 金 、 補 助 金 及 び 交 付 金 | 3,720 | | 3,720 | 3,720 | | 3,720 | 250,828 | | 250,828 | |
| 20 扶 助 費 | | | | | | | | | | |
| 21 貸 付 金 | | | | | | | | | | |
| 22 補 償 、 補 填 及 び 賠 償 金 | | | | | | | 118,322 | | 118,322 | |
| 23 償 還 金 、 利 子 及 び 割 引 料 | | | | | | | | | | |
| 24 投 資 及 び 出 資 金 | | | | | | | | | | |
| 25 積 立 金 | | | | | | | 854 | | 854 | |
| 26 寄 付 金 | | | | | | | | | | |
| 27 公 課 費 | | | | | | | 88 | | 88 | |
| 28 繰 出 金 | | | | | | | | | | |
| 予 備 費 | | | | | | | | | | |
| 計 | 6,210,868 | 199,724 | 6,410,592 | 5,900,439 | 199,724 | 6,100,163 | 8,281,488 | 61,622 | 8,343,110 | |
| 財 源 | | | | | | | | | | |
| 財 庫 支 出 金 | 848,636 | | 848,636 | 843,011 | | 843,011 | 219,510 | 3,293 | 222,803 | |
| 地 方 債 | 52,000 | 146,000 | 198,000 | 52,000 | 146,000 | 198,000 | 9,000 | | 9,000 | |
| そ の 他 | 38,607 | 2,380 | 40,987 | 32,943 | 2,380 | 35,323 | 5,800,129 | 6 | 5,800,135 | |
| 一 般 財 源 | 5,271,625 | 51,344 | 5,322,969 | 4,972,485 | 51,344 | 5,023,829 | 2,261,849 | 49,323 | 2,311,172 | |

| 款 項 目 | | | | | | | | | |
|------------------------------|-----------|-------|---------|---------|--------|---------|---------------|--------|--------|
| | 2目 文化財保護費 | | | 4目 博物館費 | | | 5目 青少年社会教育施設費 | | |
| | 補正前 | 補正額 | 補正後 | 補正前 | 補正額 | 補正後 | 補正前 | 補正額 | 補正後 |
| 1 報 酬 | 54,923 | | 54,923 | 50,563 | 2,486 | 53,049 | 12,836 | 214 | 13,050 |
| 2 給 料 | | | | | | | | | |
| 3 職 員 手 当 等 | | | | | | | | | |
| 4 共 済 費 | 7,077 | | 7,077 | 4,712 | 229 | 4,941 | 2,038 | | 2,038 |
| 5 災 害 補 償 費 | | | | | | | | | |
| 6 恩 給 及 び 退 職 年 金 | | | | | | | | | |
| 7 貸 金 | 540 | | 540 | 1,881 | | 1,881 | 50 | | 50 |
| 8 報 償 費 | 7,007 | 348 | 7,355 | 9,937 | 610 | 10,547 | 1,921 | | 1,921 |
| 9 旅 費 | 15,197 | 202 | 15,399 | 13,115 | 4,040 | 17,155 | 1,915 | | 1,915 |
| 費用 弁 償 | 4,120 | | 4,120 | 2,048 | 3,000 | 5,048 | 160 | | 160 |
| 普 通 旅 費 | 5,546 | | 5,546 | 6,390 | | 6,390 | 781 | | 781 |
| 特 別 旅 費 | 5,531 | 202 | 5,733 | 4,677 | 1,040 | 5,717 | 974 | | 974 |
| 10 交 際 費 | | | | | | | | | |
| 11 需 用 費 | 29,166 | | 29,166 | 48,965 | | 48,965 | 20,334 | | 20,334 |
| 12 役 務 費 | 7,516 | | 7,516 | 16,190 | | 16,190 | 3,510 | | 3,510 |
| 13 委 託 料 | 110,165 | 2,743 | 112,908 | 103,325 | 33,235 | 136,560 | 28,411 | 1,412 | 29,823 |
| 14 使用料及び賃借料 | 10,941 | | 10,941 | 8,119 | | 8,119 | 8,444 | | 8,444 |
| 15 工 事 請 負 費 | 53,413 | | 53,413 | | | | | 16,103 | 16,103 |
| 16 原 材 料 費 | | | | | | | | | |
| 17 公 有 財 産 購 入 費 | 46,056 | | 46,056 | | | | | | |
| 18 備 品 購 入 費 | 395 | | 395 | 3,442 | | 3,442 | 1,468 | | 1,468 |
| 19 負 担 金、補 助 金、 及 び 交 付 金 | 192,464 | | 192,464 | 41,293 | | 41,293 | 20 | | 20 |
| 20 扶 助 費 | | | | | | | | | |
| 21 貸 付 金 | | | | | | | | | |
| 22 補 償、補 填 金 及 び 賠 償 | 118,117 | | 118,117 | | | | | | |
| 23 償 還 金、利 子 及 び 割 引 料 | | | | | | | | | |
| 24 投 資 及 び 出 資 金 | | | | | | | | | |
| 25 積 立 金 | | | | | | | | | |
| 26 寄 付 金 | | | | | | | | | |
| 27 公 課 費 | | | | | | | 81 | | 81 |
| 28 繰 出 金 | | | | | | | | | |
| 予 備 費 | | | | | | | | | |
| 計 | 652,977 | 3,293 | 656,270 | 301,542 | 40,600 | 342,142 | 81,028 | 17,729 | 98,757 |
| 財 源 | | | | | | | | | |
| 国 庫 支 出 金 | 213,698 | 3,293 | 216,991 | | | | | | |
| 地 方 債 | | | | | 9,000 | 9,000 | | | |
| そ の 他 | 3,055 | | 3,055 | 19,060 | 6 | 19,066 | 6,757 | | 6,757 |
| 訳 一 般 財 源 | 436,224 | | 436,224 | 282,482 | 31,594 | 314,076 | 74,271 | 17,729 | 92,000 |

節 の 明 細

| 項 目 | | 金額(千円)等 |
|-----------------|------------------|---------|
| 10款 教育費 | | |
| 1項 教育総務費 | | |
| 5目 教職振興費 | | |
| 負担金、補助 及び交付金 | 特別支援教育総合推進事業補助金 | 558 |
| 6項 社会教育費 | | |
| 4目 博物館費 | | |
| 報 酬 | 非常勤職員 | 1人 |
| | 美術館整備基本構想検討委員会委員 | 15人 |
| 5目 青少年社会教育施設費 | | |
| 報 酬 | 指定管理候補者審査委員会委員 | 8人 |

継続費に及び当該前年度以降の前年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の
見込み及び当該前年度以降の前年度末までの支出額並びに事業の進行状況等に関する調書

追加

| 款 | 項 | 事業名 | 全体計画 | | | | | | | | | | 前年度末までの支出額 (見込) | 当該年度 支出予定 額 | 当該年度 末までの 支出予定 額 | 翌年度以 降支出予 定額 | 継続費の 総額に対 する進捗 率 | |
|----|---------|------------------|---------|--------|--------|--------|------|----|----|--------------------|---------|---------|--------------------|-------------------|---------------------------|--------------------|---------------------------|-------|
| | | | 年度 | 年割額 | 左の財源内訳 | | | | | 前年度 末までの 支出額 | 千円 | 千円 | | | | | | 千円 |
| | | | | | 特定財源 | | その他 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 国庫支出金 | 地方債 | 一般財源 | 千円 | 千円 | | | | | | | | | |
| 27 | 197,344 | | 146,000 | | | 51,344 | | | | | 197,344 | 197,344 | | | | | 85.4 | |
| 28 | | 倉吉養護学校水治訓練室整備事業費 | | 24,000 | | 9,792 | | | | | | | | | 33,792 | | | 14.6 |
| 計 | | | 170,000 | | | 61,136 | | | | | 197,344 | 197,344 | | | 33,792 | | | 100.0 |

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

追加

| 事 項 | 限 度 額 千円 | 前年度末までの支出(見込)額 千円 | | 当該年度以降の支出予定額 千円 | | 左 の 財 源 内 訳 | | | |
|---------------------------------|-------------|----------------------|-----|----------------------|---------|-------------|-----------|-----------|------------|
| | | 期 間 | 金 額 | 期 間 | 金 額 | 国庫支出金 千円 | 地方債 千円 | その他 千円 | 一般財源 千円 |
| 平成27年度 鳥取県立大山青年の家 管理委託 | 110,016 | | | 平成28年度から 平成30年度まで | 110,016 | | | | 110,016 |
| 平成27年度 鳥取県立船上山少年自 然の家管理委託 | 110,100 | | | 平成28年度から 平成30年度まで | 110,100 | | | | 110,100 |
| 平成27年度 琴の浦高等特別支援学 校給食業務委託 | 72,900 | | | 平成28年度から 平成30年度まで | 72,900 | | | | 72,900 |

| | |
|----------|---|
| 条例名等 | 鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について |
| 提出理由及び概要 | <p>1 提出理由</p> <p>民間手法の導入等による施設運営の効率化やサービスの向上を図るため、鳥取県立青少年社会教育施設に指定管理者制度を導入する等の所要の改正を行う。</p> <p>2 概要</p> <p>(1) 青少年社会教育施設の管理は、指定管理者に行わせることとし、その業務の範囲及び管理の期間を定める。</p> <p>(2) 指定管理者の候補者の選定基準について、青少年社会教育施設の特例を定める。</p> <p>(3) 青少年社会教育施設の所掌事務、休所日、行為制限等を条例化する等の所要の規定の整備を行う。</p> <p>3 施行期日</p> <p>施行期日は、平成28年4月1日とする(1)を除き、公布日とする。</p> |

鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例（昭和52年鳥取県条例第7号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、下線及び太枠で示すように改正する。

| 改正後 | 改正前 | | | | |
|---|--|--|---------------|--|--|
| <p><u>(所掌事務)</u></p> <p><u>第3条 青少年社会教育施設においては、次に掲げる事務を行う。</u></p> <table border="1" data-bbox="215 564 762 1265"> <tr> <td data-bbox="215 564 402 896">鳥取県立大山青年の家</td> <td data-bbox="402 564 762 896"> (1) 青少年の集団宿泊訓練に関すること。 (2) 青少年の野外活動に関すること。 (3) 青少年及び青少年指導者の研修に関すること。 (4) その他青少年の健全な育成に関すること。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="215 896 402 1265">鳥取県立船上山少年自然の家</td> <td data-bbox="402 896 762 1265"> (1) 少年の集団宿泊訓練に関すること。 (2) 少年の野外活動並びに自然観察及び自然探究に関すること。 (3) 少年指導者の研修に関すること。 (4) その他少年の健全な育成に関すること。 </td> </tr> </table> | 鳥取県立大山青年の家 | (1) 青少年の集団宿泊訓練に関すること。 (2) 青少年の野外活動に関すること。 (3) 青少年及び青少年指導者の研修に関すること。 (4) その他青少年の健全な育成に関すること。 | 鳥取県立船上山少年自然の家 | (1) 少年の集団宿泊訓練に関すること。 (2) 少年の野外活動並びに自然観察及び自然探究に関すること。 (3) 少年指導者の研修に関すること。 (4) その他少年の健全な育成に関すること。 | |
| 鳥取県立大山青年の家 | (1) 青少年の集団宿泊訓練に関すること。 (2) 青少年の野外活動に関すること。 (3) 青少年及び青少年指導者の研修に関すること。 (4) その他青少年の健全な育成に関すること。 | | | | |
| 鳥取県立船上山少年自然の家 | (1) 少年の集団宿泊訓練に関すること。 (2) 少年の野外活動並びに自然観察及び自然探究に関すること。 (3) 少年指導者の研修に関すること。 (4) その他少年の健全な育成に関すること。 | | | | |
| <p><u>2 青少年社会教育施設は、前項に規定する事務に支障がない場合は、一般人に利用させることができる。</u></p> | | | | | |
| <p><u>(職員)</u></p> <p><u>第4条 青少年社会教育施設に、<u>所長その他の所要の職員を置く。</u></u></p> | <p><u>(職員)</u></p> <p><u>第3条 青少年社会教育施設に、<u>事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。</u></u></p> <p><u>(目的外の利用)</u></p> <p><u>第4条 教育委員会は、必要があると認めるときは、<u>青少年社会教育施設を第2条に規定する目的以外の目的に利用させることができる。</u></u></p> | | | | |
| <p><u>(指定管理者による管理)</u></p> <p><u>第5条 教育委員会は、<u>地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき、法人その他の団体であつて教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に次に掲げる業務を行わせるものとする。</u></u></p> | | | | | |

- (1) 青少年社会教育施設の施設設備の維持管理に関する業務
- (2) 第13条の規定による使用料の徴収に関する業務
- (3) 第3条第1項に規定する事務を補助する業務
- (4) 前3号に掲げるもののほか、青少年社会教育施設の管理に関する業務のうち教育委員会が別に定めるもの

(指定管理者の管理の期間)

第6条 指定管理者が前条に規定する業務を行う期間は、指定管理者の指定を受けた日の属する年度の翌年度の4月1日(当該指定を受けた日が4月1日である場合は、同日)から3年間とする。ただし、再指定による期間の更新を妨げない。

(指定管理者の選定基準)

第7条 教育委員会は、鳥取県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例(平成16年鳥取県条例第67号)第5条の規定にかかわらず、次に掲げる基準によって指定管理者の候補者を選定するものとする。

- (1) 第5条に規定する業務の事業計画書の内容が、青少年社会教育施設の効用を最大限に発揮させるとともに、当該業務に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (2) 第5条に規定する業務を安定して行うために必要な人員及び財政的基礎を有しており、又は確保できる見込みがあること。
- (3) 教育委員会が行う事業に積極的に協力する者であること。
- (4) その他教育委員会が第2条に規定する目的を達成するために必要と認めるものとして別に定める事項

(休所日)

第8条 青少年社会教育施設の休所日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する国民の祝日(その日が日曜日又は土曜日である場合を除く。)
- (3) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日までの日

2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、

前項の規定にかかわらず、臨時に休所し、又は休所日に開所することができる。

(利用の許可)

第9条 略

2 教育委員会は、その利用が次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の許可（以下「利用許可」という。）をしないことができる。

(1) 略

(2) 青少年社会教育施設の施設設備を毀損し、若しくは汚損し、又はそのおそれがあると認められるとき。

(3) 略

3 教育委員会は、青少年社会教育施設の管理上必要があると認めるときは、利用許可に条件を付することができる。

(行為の制限等)

第10条 青少年社会教育施設においては、次の行為をしてはならない。

(1) 青少年社会教育施設の施設設備を毀損し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をすること。

(2) 所定の場所以外の場所において喫煙し、又は飲食をすること。

(3) 青少年社会教育施設の風紀を乱し、若しくは他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をすること。

(4) 前3号に掲げるもののほか、青少年社会教育施設の管理運営に支障がある行為をすること。

2 教育委員会は、前項の規定に違反し、又はそのおそれのある者に対しては、青少年社会教育施設への入館を拒み、又は青少年社会教育施設からの退去を命ずることができる。

(措置命令)

第11条 教育委員会は、青少年社会教育施設の適正な管理運営を図るため必要があると認めるときは、利用許可を受けた者（以下「利用者」という。）に対し、必要な措置を命ずることができる。

(利用許可の取消し)

第12条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、利用許可を取り消すことができる。

(利用の許可)

第5条 略

2 教育委員会は、その利用が次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の許可をしないことができる。

(1) 略

(2) 青少年社会教育施設の施設設備をき損し、若しくは汚損し、又はそのおそれがあると認められるとき。

(3) 略

| | |
|---|---|
| <p>(1) <u>この条例又はこの条例に基づく処分に違反したとき。</u></p> <p>(2) <u>利用許可を受けた利用目的以外の目的に利用し、又はそのおそれがあるとき。</u></p> <p>(3) <u>利用許可の条件に違反したとき。</u></p> <p>(4) <u>詐欺その他不正の行為により利用許可を受けたとき。</u></p> <p>(5) <u>前各号に掲げるもののほか、青少年社会教育施設の管理運営に支障がある行為をし、又はそのおそれがあるとき。</u></p> | |
| <p>(使用料の徴収)</p> <p>第13条 略</p> <p>2 <u>指定管理者は、規則で定める特別の理由があるときは、使用料を減免するものとする。</u></p> | <p>(使用料の徴収)</p> <p>第6条 略</p> <p>2 <u>知事は、特別の理由があるときは、規則で定めるところにより、使用料を減免することができる。</u></p> |
| <p>(権限の委任)</p> <p>第14条 <u>第8条から第12条までに規定する教育委員会の権限は、所長に委任する。</u></p> | |
| <p>(教育委員会規則への委任)</p> <p>第15条 略</p> <p>別表 (第13条関係)</p> | <p>(教育委員会規則への委任)</p> <p>第7条 略</p> <p>別表 (第6条関係)</p> |
| <p>略</p> | <p>1 <u>施設使用料</u></p> <p>略</p> <p>2 <u>シーツ料</u></p> <p><u>シーツの洗たくに要する費用を勘案して知事が定める額</u></p> |

附 則

この条例は、公布の日から施行する。ただし、第5条を加える改正規定並びに第6条第2項及び別表の改正規定は、平成28年4月1日から施行する。

平成26年度鳥取県一般会計継続費繰越計算書

| 款 | 項 | 事業名 | 継続費の総額 | 平成26年度継続費予算現額 | | | 支出済額及び 支出見込額 | 残額 | 翌年度 繰越額 | 左の財源内訳 | | | |
|--------|---------|-----------------------------|------------------|---------------|----------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|
| | | | | 予算計上額 | 前年度 繰越額 | 計 | | | | 繰越金 | 国庫支出金 | 特定財源 地方債 | その他 |
| 10 教育費 | 1 教育総務費 | 鳥取工業高等学校建築・ 電気実習棟改築事業費 | 996,281,000 | 112,931,000 | 28,229,050 | 141,160,050 | 115,265,400 | 25,894,650 | 25,894,650 | 円 | 円 | 円 | |
| | | 倉吉総合産業高等学校 管理棟改築事業費 | 697,057,000 | 53,764,000 | 15,939,950 | 69,703,950 | 61,252,040 | 8,451,910 | 8,451,910 | | | | |
| | | 鳥取西高等学校耐震 改修等整備事業費 | 3,912,968,000 | 1,805,101,000 | 67,061,000 | 1,872,162,000 | 956,833,834 | 915,328,166 | 915,328,166 | | | | |
| | | 八頭高等学校改築整備事業費 | 688,790,000 | 374,747,000 | 26,016,000 | 400,763,000 | 365,836,600 | 34,926,400 | 34,926,400 | | | | |
| | | 倉吉西高等学校 弓道整備事業費 | 72,152,000 | 33,152,000 | | 33,152,000 | 25,276,000 | 7,876,000 | 7,876,000 | | | | |
| | | 倉吉総合産業高等学 校ラウンダー整備事業費 | 43,316,000 | 19,316,000 | | 19,316,000 | 16,656,000 | 2,660,000 | 2,660,000 | | | | |
| | | 鳥取工業高等学校 ラウンダー整備事業費 | 62,128,000 | 29,128,000 | | 29,128,000 | 6,672,240 | 22,455,760 | 22,455,760 | | | | |
| | | 倉吉農業高等学校大 自動車免許取得施設整備事業費 | 18,346,000 | 8,668,000 | | 8,668,000 | 886,280 | 7,781,720 | 7,781,720 | | | | |
| | | 米子東高等学校整備 事業費 | 2,600,620,000 | 102,331,000 | | 102,331,000 | 51,048,960 | 51,282,040 | 51,282,040 | | | | |
| | | 八頭高等学 校耐震 改修等整備事業費 | 332,569,000 | 95,711,000 | | 95,711,000 | 50,817,000 | 44,894,000 | 44,894,000 | | | | |
| | | 県立高等学校等非常 耐震対策事業費 | 886,814,000 | 354,726,000 | | 354,726,000 | 144,250,000 | 210,476,000 | 210,476,000 | | 18,134,000 | 163,000,000 | |
| | | 特別支 5 学 校 | 西部薄弱高等部整備 事業費 | 6,111,000 | 1,833,000 | | 1,833,000 | | 1,833,000 | 1,833,000 | | | |
| | | 計 | | | 10,317,152,000 | 2,991,408,000 | 137,246,000 | 3,128,654,000 | 1,794,794,354 | 1,333,859,646 | 1,333,859,646 | 18,134,000 | 163,000,000 |

平成26年度鳥取県一般会計繰越明許費繰越計算書

| 款 | 項 | 事業名 | 金額 | 翌年度繰越額 | 左の財源内訳 | | | | | | |
|--------|---------|--|-------------------------|-------------------------|-------------|-------------|--------------|-----------|------|-----|------------------------|
| | | | | | 既収入 特定財源 | 未収入 特定財源 | | | 一般財源 | | |
| | | | | | | 国庫支出金 | 分担金及び 負担金 | その他 | | 地方債 | |
| 10 教育費 | 1 教育総務費 | 地域を担う人財育成事業費 (鳥取県版キャリア教育推進) 倉吉農業高等学校校費 演習林活用検討事業費 | 22,242,000 9,188,000 | 11,157,000 8,984,000 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 2,000,000 1,053,000 |
| | 6 社会教育費 | 青谷上寺地遺跡史跡指定地 公有化・維持管理事業費 | 257,617,000 | 51,379,121 | | 41,104,000 | | | | | 10,275,121 |
| | 計 | | 289,047,000 | 71,520,121 | | 53,110,000 | | 5,082,000 | | | 13,328,121 |

| | |
|----------|--|
| 件名 | <p>議会の委任による専決処分の報告について</p> <p>(1) 鳥取県育英奨学資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について</p> <p>(平成27年5月9日専決)</p> |
| 提出理由及び概要 | <p>1 提出理由</p> <p>地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第1項の規定により、鳥取県育英奨学資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について、次のとおり専決処分をしたので、同条第2項の規定により、これを本議会に報告するものである。</p> <p>2 概要</p> <p>(1) 請求の相手方</p> <p>倉吉市内 個人1名(借受者の連帯保証人)</p> <p>(2) 請求の趣旨</p> <p>鳥取県育英奨学資金貸付金の借受者の連帯保証人である相手方に対し、当該貸付金の返還を求めるとともに、訴訟費用の負担を求める。併せて、当該貸付金の返還について、仮執行の宣言を求める。</p> <p>(3) 訴訟の方針</p> <p>第一審判決の結果、必要があるときは、上訴するものとする。</p> |

| | |
|----------|--|
| 件名 | <p>議会の委任による専決処分の報告について (2) 鳥取県進学奨励資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について (平成27年5月9日専決)</p> |
| 提出理由及び概要 | <p>1 提出理由 地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第1項の規定により、鳥取県進学奨励資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について、次のとおり専決処分をしたので、同条第2項の規定により、これを本議会に報告するものである。</p> <p>2 概要 (1) 請求の相手方 東京都中野区 個人1名(借受者)</p> <p>(2) 請求の趣旨 鳥取県進学奨励資金貸付金の借受者である相手方に対し、当該貸付金の返還を求めるとともに、訴訟費用の負担を求める。併せて、当該貸付金の返還について、仮執行の宣言を求める。</p> <p>(3) 訴訟の方針 第一審判決の結果、必要があるときは、上訴するものとする。</p> |

| | |
|----------|--|
| 件名 | <p>議会の委任による専決処分^の報告について (3) 鳥取県育英奨学資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について (平成27年5月9日専決)</p> |
| 提出理由及び概要 | <p>1 提出理由 地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第1項の規定により、鳥取県育英奨学資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について、次のとおり専決処分をしたので、同条第2項の規定により、これを本議会に報告するものである。</p> <p>2 概要 (1) 請求の相手方 倉吉市内 個人1名(借受者)</p> <p>(2) 請求の趣旨 鳥取県育英奨学資金貸付金の借受者である相手方に対し、当該貸付金の返還を求めるとともに、訴訟費用の負担を求める。併せて、当該貸付金の返還について、仮執行の宣言を求める。</p> <p>(3) 訴訟の方針 第一審判決の結果、必要があるときは、上訴するものとする。</p> |

| | |
|----------|--|
| 件名 | <p>議会の委任による専決処分の報告について (4) 鳥取県進学奨励資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について (平成27年5月9日専決)</p> |
| 提出理由及び概要 | <p>1 提出理由 地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第1項の規定により、鳥取県進学奨励資金貸付金の返還請求等に係る訴えの提起について、次のとおり専決処分をしたので、同条第2項の規定により、これを本議会に報告するものである。</p> <p>2 概要 (1) 請求の相手方 東伯郡琴浦町 個人1名(借受者)</p> <p>(2) 請求の趣旨 鳥取県進学奨励資金貸付金の借受者である相手方に対し、当該貸付金の返還を求めるとともに、訴訟費用の負担を求める。併せて、当該貸付金の返還について、仮執行の宣言を求める。</p> <p>(3) 訴訟の方針 第一審判決の結果、必要があるときは、上訴するものとする。</p> |

件名

議会の委任による専決処分の報告について
 (8) 鳥取県進学奨励資金貸付金の返還請求等に係る和解について
 (平成27年5月14日専決)

提出理由及び概要

1 提出理由

- (1) 鳥取県進学奨励資金貸付金の返還金の滞納者（借受者の連帯保証人）に対し支払督促を行ったところ、異議申立てが行われ、民事訴訟法の規定により訴訟に移行した。
- (2) 訴訟の過程において相手方と和解に向けた話し合いを行い、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分をしたので、同条第2項の規定により、これを本議会に報告するものである。

2 概要

(1) 和解の要旨

| 区分 | 訴訟の概要 | 和解の概要 |
|-----------|--------------------------|--|
| 相手方 | 鳥取市内 個人1名 (借受者の連帯保証人) | 同左 |
| 相手方の債務の内容 | 未償還金の一括返還を求めめる。 | 未償還金を分納する。 |
| 額 | 未償還金全額 | 同左 |
| 返還方法 | 一括返還 | ① 相手方は、連帯して1,454,696円（内訳 進学奨励資金の未返還額1,439,762円、支払督促申立手続費用8,434円、追納手数料6,500円）を平成27年7月から全額返還するまでの間、毎月月末までに15,000円ずつ（最終支払月にあっては14,696円）県に支払うこと。 ② 相手方が支払を怠り、30,000円に達したときは、相手方は期限の利益を失う。 |

(2) 和解の理由

次の理由から、県として受け入れることができる内容であると判断した。

- ① 和解の相手方の経済状況からみて、未償還金を一括返還することが困難であること。
- ② 返還の内容が、県にとって著しく不利益なものではないこと。

